

第4期静岡市自殺対策行動計画(令和5～8年度)(案)に関する パブリックコメントの実施結果及びご意見に対する対応について

1 パブリックコメントの概要

- (1)募集期間 令和4年12月16日(金)から令和5年1月16日(月)
- (2)閲覧場所 ① 精神保健福祉課(静岡市保健所 保健所棟2階)
② 各区の市政情報コーナー(葵区/静岡庁舎新館1階、
駿河区/駿河区役所3階、清水区/清水区役所4階)
③ 各生涯学習センター、生涯学習交流館及び図書館
④ 静岡市ホームページ
- (3)提出方法 郵送、ファックス、持参、電子申請のいずれか

2 パブリックコメントの実施結果

- (1)意見提出者数 12名(個人8名、法人4名)
- (2)意見提出件数 23件

(3)選択式質問の集計

【質問1】 自殺対策について、あなたが関心のある事柄について教えてください。(最大3つまで)

選択肢	回答数
① 差別・偏見の解消や相談窓口等の周知	2
② 子ども・若者に対する予防教育	5
③ 妊産婦・子育て世代に対する周産期うつ病対策	2
④ 勤労者の過重労働やハラスメント防止	2
⑤ 経営者の経営支援	1
⑥ 高齢者の疾患や認知症予防	1
⑦ 介護者の介護負担軽減	1
⑧ 障がい者の自立支援	1
⑨ ひきこもりの方の社会復帰支援	1
⑩ 自死遺族等に対する支援の周知	0
⑪ 性的少数者(LGBTQ)の理解や配慮の促進	0
⑫ がん、慢性疾患等罹患者のメンタルケア	2
⑬ 生活困窮者等の生活・就労支援	1
⑭ こころの悩みを抱える方の相談支援	1
⑮ 自傷行為に対する理解促進や自殺未遂者の再度の自殺を防ぐ取組	1
⑯ 複合課題を抱える方の相談体制	2
⑰ その他	0
計	23

【質問2】 第4期静岡市自殺対策行動計画(案)をお読みいただいて、内容に共感できましたか。

選択肢	回答数	割合
とても共感できた	1	8.3%
まあまあ共感できた	7	58.3%
あまり共感できなかった	2	16.7%
全く共感できなかった	1	8.3%
分からない	0	0.0%
無回答	1	8.3%
計	12	100.0%

3 ご意見の概要と市の考え

<対応状況一覧>

対応状況	件数	対応状況	件数
① 計画に反映する	1	③ 今後の参考とする	14
② 計画に盛り込み済み	5	④ その他感想等	2

計 23件

No.	ご意見の概要	分類	対応状況	市の考え方
1	対象別は見やすいが、自殺原因は本人の状況だけではない。周囲の環境を含め総合的な関わりが必要であり、縦割り支援では不可能。最終的に重層的支援に持ち込める流れにする必要がある。	計画全般	② 計画に盛り込み済み	対象別とすることで、受けられる支援や相談窓口を分かりやすくするとともに、相談窓口の職員の資質向上や連携・協働の推進により、本人だけでなく周囲の環境を含めた総合的な支援を目指します。 また、複合課題を抱える方について、当面の間は、「Lifeを守る総合相談会」等に対応し、将来的には重層的支援体制整備事業の中で対応する予定です。
2	静岡市は市民の命を大切に守っていくんだ、という意思が伝わってきました。	計画全般	④ その他感想等	ご意見ありがとうございます。
3	物価高騰、生活困窮など重苦しい雰囲気の中の世の中ですが、一人でも多くの人の命を守るため、自殺対策のための施策を充実してってください。	計画全般	③ 今後の参考とする	社会情勢の変化にも柔軟に対応しながら、誰一人自殺に追い込まれることのない社会の実現に向け尽力してまいります。

No.	ご意見の概要	分類	対応状況	市の考え方
4	<p>身近な人間が自殺し、自殺未遂し、どうしていけば守れたのかをずっと考えている。</p> <p>死んでしまいそうなくらい落ち込んでいる人の雰囲気はなんとなくわかるのだが、その状態は既に心が壊れている状態だし、完治はしないものだと思っている。そうなる前の状態でなんとかできるならそうするべきだと誰もが思うはず。</p> <p>どの段階でどのような対応をするのかなど、病みそうな人/病んでしまった人に寄り添う人たちに基準を示すような計画があるといいと思う。</p>	計画全般	③ 今後の参考とする	<p>身近な人の自死があったということで、ご自身も大変辛い思いをされたことと思います。</p> <p>悩みやストレスを抱える方に対しては、その状態に応じて、①相談支援、②制度利用、③医療提供等の支援が可能ですが、その前段としてアセスメント(課題がどこにあるのか、本人・周囲を含めたニーズはなにか、緊急性が高いのかどうか等の評価)というのが非常に重要になります。</p> <p>ご意見の内容は、このアセスメントに係る部分かと思いますが、これには高い専門性が必要となり、一般の方が行うのはリスクがあります。</p> <p>身近な方の異変を感じたら、声をかけ、話を聴いて、相談しやすいところで構いませんので、公的な相談窓口におつなぎいただければと思います。</p>
5	<p>実際に障害を持っており、希死念慮を抱いていた身からすると、ゲートキーパー等に過大な期待を抱いていると思う。死に方や生き方に対する想像力が欠如している。</p>	計画全般	③ 今後の参考とする	<p>ゲートキーパーは、支援を必要とする方の早期発見・早期支援につながる取組と考えていますが、支援につながった後の対応が重要というご指摘かと存じます。</p> <p>当事者に寄り添った支援・対応ができるよう関係窓口の職員の資質向上等にも努めてまいります。</p>
6	<p>3年前から続く新型コロナウイルスの影響で、静岡市の自殺者数・自殺死亡率の増加を心配していましたが、目立った増加が見られず、全国平均を下回っていることに少し安心しました。これからも様々な予防対策を行っていただけることを期待します。</p>	第2章 自殺の現状	③ 今後の参考とする	<p>現時点では目立った増加が確認されていませんが、新型コロナウイルス感染症の影響は今後もしばらく続くおそれがありますので、コロナ禍及びアフターコロナを踏まえた支援を継続していきたいと思っております。</p>

No.	ご意見の概要	分類	対応状況	市の考え方
7	<p>国の「自殺総合対策大綱」において、女性の自殺者数が2年連続して増加していることを踏まえ、妊産婦への支援やコロナ禍で顕在化した課題を踏まえた女性の自殺対策を「当面の重点施策」に新たに位置づけて取組を強化した。</p> <p>静岡市の自殺者数の推移をみても、男性の自殺者数は減少傾向にあるものの、女性の自殺者数は2年連続して増加するなど、同様の傾向にあるが、このことをどう評価しているのか。</p>	<p>第2章 6 現状と課題の整理 第3章 4 取組の対象及び重点対象</p>	<p>③ 今後の参考とする</p>	<p>国においては比較的若い層(20歳未満～59歳)の女性の自殺者数が増加したこと等を踏まえ、①妊産婦への支援の充実、②コロナ禍における非正規雇用等の問題や性犯罪・DV被害等に対応した支援などが当面の重点事業として挙げられました。</p> <p>一方、静岡市の女性の増加は、高齢者層(70歳以上)で見られることから、やや傾向が異なると認識しています。</p> <p>これらのことから、第4期計画における女性の自殺対策は、「妊産婦・子育て世代」を対象とする支援を継続するとともに、重点対象「高齢者・介護者」の中で合わせて推進していく予定ですが、今後の動向にも注視したいと考えています。</p>
8	<p>説明文中、当該計画の主体は「市」であること、またこの計画に基づいて市が主体的に行動することから、「早期発見・早期支援を促す」との表現ではなく「早期発見・早期支援を図る」に修正したほうがよいのではないかと。</p>	<p>第3章 2 基本方針</p>	<p>③ 今後の参考とする</p>	<p>早期発見・早期支援は、市が直接発見し、支援につなげるだけではなく、正しい知識の普及啓発やゲートキーパーの養成により、市民が自ら気づいたり・周囲の方が気づくことで、早期に発見し(または発見され)、支援につなげることを目指すものです。</p> <p>主に間接的な取組であることから、「促す」という表現を用いております。ご意見として頂戴いたします。</p>
9	<p>基本方針(2)悩みやストレスの原因解決・解消に向け支援する について</p> <p>説明文中、「制度利用」は「各種支援制度等の利用」、「福祉サービスの活用等により」は「福祉サービス等の活用により」に修正したほうが適切ではないかと。</p>	<p>第3章 2 基本方針</p>	<p>④ 今後の参考とする</p>	<p>パブリックコメント用の概要版にまとめるにあたり、このような表記としましたが、実際の概要版を作成する際の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、「福祉サービスの活用等」としたのは、ハンドブック作成等の情報発信や、相談員の資質向上等の取組があるためです。</p>
10	<p>基本方針(3)自殺未遂者等のいのちを守り、再度の自殺を防ぎます について</p> <p>「再度の自殺を防ぐ」は「再度の自殺企図を防ぐ」としたほうが適切ではないかと。</p>	<p>第3章 2 基本方針</p>	<p>① 計画に反映する</p>	<p>ご指摘の通り「自殺企図」の方が適切であるため、計画に反映します。</p>

No.	ご意見の概要	分類	対応状況	市の考え方
11	<p>基本方針(4)複合課題に対応できる連携体制・支援体制を構築します について</p> <p>現在、連携体制や支援体制がないので新たに構築すると読み取れるが、現在ある連携体制や支援体制を更に強化するのであれば、「相談・支援体制の更なる連携推進と充実強化」と修正したらどうか。</p>	第3章 2 基本方針	③ 今後の参考とする	<p>既存の連携体制を強化するだけでなく、計画期間中に重層的支援体制を整備することを予定しておりますので、このような記載となっております。ご意見として頂戴いたします。</p>
12	<p>国の自殺総合対策大綱との連動やこれまでの市の取組等もあることから、現状と課題に記述のとおり女性を対象として加え、新設する。</p>	第3章 4 取組の対象及び重点対象	④ その他感想等	<p>静岡市における女性の自殺者数増加は、高齢者層(70歳以上)で見られることから、「妊産婦・子育て世代」を対象とする支援を継続するとともに、重点対象「高齢者・介護者」の中で合わせて推進していく予定です。</p>
13	<p>正直、市でここまで多くの自殺対策を行っているとは知らず、驚きました。ただこれだけの対策をしても年間100人を超える方が亡くなっているんですね。正しい対応方法をもっとPRしてください。</p>	第4章 1 早期発見・早期支援を促す	③ 今後の参考とする	<p>切迫した状況にある方ほど自らSOSを発信できないことが多いことから、身近な人が気づいて支援につながる「ゲートキーパー」の養成に力を入れていきたいと考えています。一般市民向けのゲートキーパー養成研修は、動画配信を予定していますので、ぜひご覧いただければと思います。また、動画を配信した際には、効果的なPRについても検討したいと思います。</p>
14	<p>相談窓口が多岐に渡り充実してきた半面、自殺予防に限らず、悩みを抱える人たちがどこに相談したら良いか、分かりにくい状況がある。相談窓口のより良い周知方法など積極的な取組みを望む。</p>	第4章 1 早期発見・早期支援を促す	② 計画に盛込み済み	<p>第4期計画では、対象ごとの「迷ったらここに相談」を明示し、当該窓口から適切な支援機関を紹介する計画となっております。また、静岡市自殺対策ホームページにて、相談者の希望に合った窓口を検索できるようリニューアルを行う予定です。</p>
15	<p>勤労者・経営者の取組として、ハラスメント防止対策のほか、労働保健事業として推進されている職場におけるメンタルヘルス対策の推進を加える。</p>	第4章 2 悩みやストレスの原因解決・解消に向け支援する勤労者・経営者	② 計画に盛込み済み	<p>勤労者・経営者を対象とする事業・取組に「職場のメンタルヘルス対策」に関連する事業を掲載しています。</p>

No.	ご意見の概要	分類	対応状況	市の考え方
16	<p>(重層的相談支援体制の整備にあたって) 窓口がどう相談対応しているのか、たらい回しはないか、相談の行方、確実に次の支援につながったか、点検する仕組みが必要。</p>	<p>第4章 4 複合課題に 対応できる 連携体制・ 支援体制の 構築</p>	<p>③ 今後の 参考とする</p>	<p>複雑化・複合化する福祉課題に対応するためには、御意見のような仕組みづくりが重要だと考えております。本市の重層的支援体制を整備していく中で検討してまいります。</p>
17	<p>自殺はさまざまな要因が重なって起こる。計画策定の際には他法との兼ね合いを考慮し、ここは重層的支援体制整備を視野に入れた計画が、より予防につながるのではないか。</p>	<p>第4章 4 複合課題に 対応できる 連携体制・ 支援体制の 構築</p>	<p>② 計画に 盛り込み済み</p>	<p>ご指摘のとおり、自殺対策には複合課題に対応できる体制整備が必要であることから、重層的支援体制の整備を第4期計画中进行する予定です。</p>
18	<p>(重層的相談支援体制の整備にあたって) それぞれの相談窓口がどのように機能しているのか、検証を踏まえる必要がある。</p>	<p>第4章 4 複合課題に 対応できる 連携体制・ 支援体制の 構築</p>	<p>③ 今後の 参考とする</p>	<p>円滑な連携を図る上で、各相談窓口が互いに機能を把握している必要があります。本市の重層的支援体制を整備していく中で、各相談窓口の機能の確認や情報共有を図ってまいります。</p>
19	<p>重層的支援への取組が今後進むと思うが、当該自殺対策行動計画にどのように反映されるのか。</p>	<p>第4章 4 複合課題に 対応できる 連携体制・ 支援体制の 構築</p>	<p>② 計画に 盛り込み済み</p>	<p>重層的支援体制整備事業は、第4期静岡市自殺対策行動計画の基本方針4「複合課題に対応できる連携体制・支援体制を構築する」に位置付けており、第4期計画期間中の整備を予定しています。</p>
20	<p>静岡市が委託している生活困窮者自立支援機関の支援内容(職員の対応力強化、専門職の位置づけ)の評価が必要である。</p>	<p>個別の事業・取組</p>	<p>③ 今後の 参考とする</p>	<p>事業の評価については、支援が終了した者の内、生活困窮状態から自立した者の件数が、毎年、増加していることから、自立相談支援機関において、的確な支援が実施されていると判断しています。 また、自立相談支援機関の相談支援員は社会福祉士等の資格を所有しており、支援にあたり、厚生労働省が実施する支援員従事者養成研修を修了することが義務付けられております。さらに、委託先にてアセスメント力の強化のため、独自に研修を開催し、支援員の対応能力の強化を図っております。</p>

No.	ご意見の概要	分類	対応状況	市の考え方
21	いのちの電話相談員の慢性的な不足や高齢化が進んでいる。相談員確保のための取組みに対する支援を望む。	個別事業	③ 今後の参考とする	いのちの電話の継続的な実施は、本市にとっても重要な取組と考えておりますので、可能な限り御協力したいと考えております。
22	国の施策のコロナ貸付で生じた債務者のその後の支援はどうか。困窮者へのさらなる借金は、その場しのぎ支援となっていないか。	その他	③ 今後の参考とする	緊急小口資金等に関する御意見と拝察いたしますが、一定の要件を満たす方については償還免除が可能となっています。 また、貸付が原因で、生活に困窮する場合、生活困窮者自立支援事業の一事業である『生活困窮者家計改善支援事業』にて、家計の面から困窮状態の改善を支援することができます。
23	ICT活用の目的は、いつでもどこでも相談しやすい環境をつくることであり、コロナ禍だからではないと思うので、あえて「コロナ禍における」の条件付与は不要。	その他	③ 今後の参考とする	「コロナ禍」という課題に対応する取組として「ICT活用」をより推進する意図でした。分かりやすい表現に努めたいと思います。